

Public Relations

広
報



<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/>



今月の表紙 農業体験塾「だいち」～みんなで乗馬や乳搾りを楽しみました～

まちの話題 夏のスポーツ合宿に5200人が来町しました！
船橋と南アルプスの子どもたちが来町しました！

第16回つべつふるさとまつり

第12回つべつ日本フィルセミナーオーケストラコンサート

温故知新

かくしゃくたる老人

達美 森田 平作さん

2007.9
NO.537



旭川明成高校から投げ方を教わる野球少年団



東京成徳大学監督からシュートを学ぶミニバス少年団

スポーツ少年団と交流を深める 夏のスポーツ合宿に5200人が来町

交流人口の拡大を図り、町の活性化を目指したスポーツ合宿事業も今年で10年目を迎えました。全道はもとより全国各地から高校・大学・実業団など15団体延べ5,200人が津別町を訪れました。

サッカーは順天堂大学など3団体、ラグビーは豊田自動織機など8団体、バスケットは大阪産業大学など3団体、野球は旭川明成高校が、厳しい暑さの中、今後の大会に向け練習に取り組みました。

また、地元少年団との交流も行われ、旭川明成高校野球部、順天堂大学サッカー部、東京成徳大学バスケット部によるクリニックでスポーツの楽しさと基礎を学びました。



順天堂大学とゲームで交流するサッカー少年団



豊田自動織機と横河電気の力の入った練習試合



ゴムボートで川下りを楽しんだ船橋の子どもたち



乳搾りを楽しんだ南アルプスの子どもたち

津別の夏を満喫しました
船橋と南アルプスの子どもたちが来町

今年の夏も8月4日から8日までの5日間、船橋市の40人の子どもたちが、8日から10日の3日間は、南アルプス市の38人の子どもたちが津別町を訪れ、町内の子どもたちと屋内ゲートボール場で焼肉や名刺交換などをしながら交流を深めました。

船橋市の子どもたちはホームステイなどをしながらゴムボートで4kmの川くだりや木工体験で鳥笛作りに挑戦しました。また、阿寒湖の遊覧船や摩周湖、硫黄山など道東の観光地を楽しみました。

南アルプス市の子どもたちは山田牧場で乳搾りやバター作り、ホーストレッキングなどの農業体験を楽しみました。

雨模様の日が続きましたが、子どもたちは津別の夏を元氣いっぱい満喫し、たくさんのお土産をお土産に我が家に帰りました。

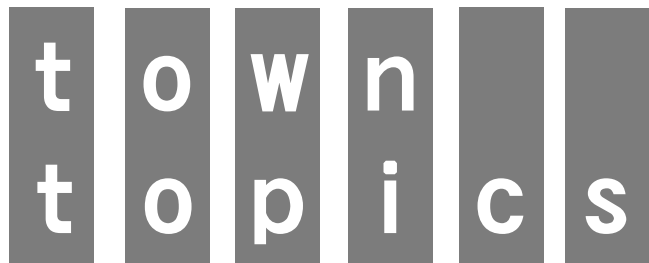


屋下がりのひとときを過ごしました

8月5日、ホテルフォレストアのロビーで「生キャラメルフォレスター」の発売を記念してコンサートが開催されました。

この日の演奏者、丸尾美佐さん（役場保健師）がフルートで「キミの瞳に恋してる」や「ルパン3世のテーマ」など全6曲を演奏。佐藤芳弘さん（電器店経営）がアコースティックギターで「アイラブユー」や「いそぎ」など全3曲。最後に石橋吉伸さん（ホテル支配人）が生キャラメルをイメージして作った「フォレスター・サマー2007」をオートハープで披露しました。

ロビーには日帰り入浴などで訪れた50人が、会場内を流れる甘い音色を楽しんでいました。



まちのわだい

7月21日、室蘭で開催された国体相撲競技大会北海道ブロック予選会に参加した津別相撲協会が団体戦と個人戦で好成績を残し、9月に秋田県で開催される全国大会への出場切符を手に入れました。

個人戦成年の部で白尾聡さん（美幌町在住）が優勝、渋谷和彦さん（東京都在住）が3位に入賞。青年の部で赤間稔史さん（津別町在住）が3位に入賞。リーグ戦で行われた団体戦は4勝1敗で優勝（白尾さんと渋谷さんは道代表に選出され出場）

8月1日、山田賀淳会長と中橋清美監督と赤間稔史さんが役場を表敬訪問し、佐藤多一町長に団体戦と個人戦の優勝を報告。

佐藤町長は「全国大会でも頑張ってきてください」とエールを送りました。

津別町相撲協会団体戦で全道優勝 白尾さんと渋谷さんが全国出場！



7月24日、ケアハウスつべつで縁日祭りが行われ、入居者の皆さんは遊びに来てくれたグループホーム、保育所、津別小の子どもたちと楽しい1日を過ごしました。

会場の玄関前には射的、輪投げ、ヨーヨーなどのコーナーが用意され、昔を懐かしみながらお祭り気分を楽しんでいました。ゲームの後にはみんなで焼きそばや焼き鳥を美味しく食べていました。

入居者の佐藤栄一さんは「みんな1カ月前から楽しみにしていました。最高の縁日です」とスタッフの津別高校生たちに感謝をしていました。

ほのぼののプレーに笑顔いっぱい 孫と一緒にゲートボール大会



7月30日、共和町営ゲートボール場で8チーム40人が参加して「孫と一緒にゲートボール大会」が開催されました。今年も、暑い日差しの中での大会でしたが、小学生8人が加わり和やかな雰囲気の中で試合が繰りげられました。初めてゲートボールをする小学生もいましたが、おじいちゃんやおばあちゃんのアドバイスを受けながら、笑顔でゲートボールを楽しみました。

孫の迫田美空さん(本岐小6年)と参加した、土江幸子さん(豊永)は「孫に負けないように頑張りました。今日は本当に楽しかったです」と笑顔で話してくれました。

泳げるようになりました 少年少女水泳教室開催



7月26日から8月1日までの5日間、少年少女水泳教室が温水プールすいむで開催されました。今回の教室はほとんど泳げない初心者を対象に毎年実施。23人の小学生が水泳の基本を教わりました。

初日は子どもたちを4クラスに分けて潜る練習、顔をつける練習、水しぶきの中を歩く練習など水に慣れることを中心に行いました。

2日日以降も子どもたちは体育指導員と一緒にピート板を使って一生懸命練習に取り組み、最終日には水にも慣れほとんどの子どもたちが泳げるようになりました。



8月3日、津別町街並みづくり推進会議（佐藤久哉会長）の呼びかけで国道240号線沿いのフラワーロードの花壇草取りが一斉に行われました。

この草取りは毎年お盆前に行われ、帰省してくる町民をきれいな花壇で迎えています。

この日は午前中から店舗前や自宅前にある花壇の草取りを行い、空き家や空き地前がある花壇は、推進会議の役員がボランティアで行いました。佐藤会長は「お盆に帰省してくる方がきれいな花壇を見て喜んでくれたらうれしいですね」と話してくれました。

きれいな花壇で帰省客を歓迎
フラワーロードの草取り実施

ケアハウスで縁日祭り 子どもに帰って楽しい1日



今年も楽しく輪になって踊ろう
笑顔いっぱい納涼盆踊り大会

8月15日、お盆の恒例行事、納涼盆踊り大会が津別神社境内で行われました。第一部では、西遊記やアニメの主人公に仮装した子ども仮装盆踊り（4組参加）とアメリカン盆ダンスで盛り上がり、大きな踊りの輪ができました。アトラクションでは、今年もカキ氷早食い大会が行われ、合宿中の大阪産業大学生が特別参加しました。苦痛の表情を浮かべながら食べる参加者に会場から大きな歓声が上がっていました。第二部では、大人仮装盆踊りが行われ、趣向をこらした衣装に身まといの踊り子たち9組が大集合、人気のゲゲの鬼太郎など思い思いの衣装で楽しく踊っていました。



美幌町図書館長の坂下さんが講演
ふれあい町民のつどいを開催



会場内の70人の方は熱心に聞き入っていました

第57回社会を明るくする運動「ふれあい町民のつどい」が7月25日、中央公民館で開かれました。初めに、小中学生を対象に募集した「社会を明るくする標語」の表彰式が行われ、最優秀賞を受賞した津別小学校の佐藤梨緒奈さんと津別中学校の水栄くんが表彰を受けました。続いて、元置戸中学校長で美幌町図書館長の坂下勝明氏による「私を泣かせた子ども達」をテーマに講演会が行われました。坂下さんは38年の教員生活の中で筋ジストロフィーで亡くなった生徒や特に手を焼いた不良生徒など思い出に残ったエピソードを披露。最後に教育とは「祈って信じて待つことが大事です」と語ってくれました。

歌とゲームで楽しい1日
児童館でパネルシアターコンサート



8月6日、児童館で町内の園児や低学年の子どもたちを対象にした「子ども劇場パネルシアターコンサート」が行われました。この日のコンサートは、「元気いっぱい」「じゅうちゃん」「ナメちゃん」「あゆみちゃん」による楽しいあそびやゲームがいっぱいでした。次に、パネル劇場「おどろぼうサツサ」が始まると子どもたちは真剣な眼差しで主人公のサツサを応援していました。最後に会場を訪れた120人の親子は、しゅうちゃんたちと一緒に「さんぽ」や「世界中の子どもたち」「おべんとうばこ」などを元気に歌い、楽しい1日を過ごしました。

乗馬や乳搾りを体験！
農業体験塾だいちに10人参加



8月2日、山田牧場でJAつべつが主催する農業体験塾「だいち」に10人の子どもたちが参加し、乗馬や乳搾り、バター作りなどを体験しました。農業体験塾「だいち」は小学生を対象に農業や食糧、協同の大切さを知ってもらおうと始まった事業で、田植え、稲刈り、そば打ちなど1年を通じた農業体験を行っています。この日は、山田照夫さん（山田牧場代表）から牧場の仕事や牛の一生について説明を受けた後、乗馬をしてくれた2頭の人参をあげたり、オーガニック牛乳や特製ヨーグルトの試食など子どもたちは動物と触れ合いながら農業の大切さを学びました。

手づくり露店がいっぱい！

ふるさとまつり

9月9日(日) 10日(月)

五差路から神社前の通り

今年も、町民手づくりの露店がたくさん並びます。金魚すくい、お面、ヨーヨーなどの縁日も出店します。9日は午後4時～9時、10日は午前10時～午後9時。ご家族お揃いで2日間の手作りおまつりを楽しんでください。

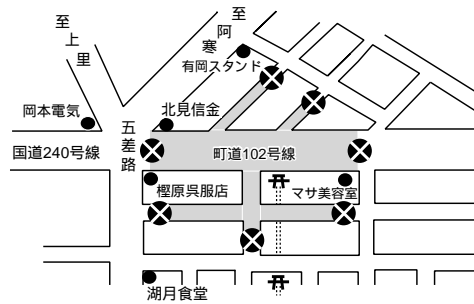
ふるさとまつりのため9月9日午前7時から11日の正午まで、左記の区間が交通規制されます。一般車両はこの期間中通行できませんので、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、町営バス開成線は、林石ガソリンスタンド前交差点から五差路までの町道102号線の間は、う回することになります。このため、西町停留所が使用できなくなります。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ先 ふるさとまつり実行委員会 ☎76-2151内線216



昨年のつべつふるさとまつり



第12回つべつ日本フィルセミナーオーケストラコンサート



昨年の日本フィルセミナーコンサート

- 日時 9月30日(日) 午後6時30分開演
- 会場 中央公民館大ホール
- 入場料 大人 1,500円(当日2,000円) 高校生以下 無料(入場整理券)

＝演奏曲＝

- ・ブラームス：交響曲第4番全楽章
ハンガリー舞曲1番、6番、5番(演奏順)
- ・ドボルザーク：チェコ組曲より「終曲(フリアント)」

今年も日本フィルハーモニー交響楽団と全国のアマチュア演奏家によるオーケストラ演奏会が開催されます。

日本最高の交響楽団・日本フィルが、アマチュア演奏家を対象に行う、全国でも唯一の管弦楽クリニック「日本フィルセミナー」が、今年も全国からたくさんのアマチュア演奏家が津別に集い行われます。

最終日に行われるこのコンサートは、9月28日から3日間のクリニックの成果を披露する場でもあります。

津別の秋の風物詩となったこのオーケストラのコンサートにぜひお越しください。

■問い合わせ先 中央公民館社会教育係 ☎76-2713

沖縄の夕日を眺めながらのんびりするのが夢です

横山 加奈江 さん



よこやま かなえ さん/昭和63年12月生まれ
ロマンス製菓に勤務/豊永

青春

くる-ずあつぷ

今年津別高校を卒業して、ロマンス製菓で働いている横山加奈江さん。現在は電話の応対と注文伝票や出荷伝票の確認など忙しい毎日を通して。

事務職を選んだきっかけは「簿記やワープロ検定の資格を生かした仕事をやりたかった」ので今はとてもやりがいを感じています。早く仕事を覚えて頑張っていきたいです。

趣味は音楽鑑賞と映画鑑賞で「YUIとアプリルライオン」が気に入っています。良い曲ばかりなので

いつも車や自宅で聴いています

休日は愛車タンクトで買い物やレンタルショップに出かける横山さん。「インドア派だった私も車を購入してから行動範囲がとて広がりました。今は車が無しでは生活できません。来年は札幌の友人の家まで運転する決意です」(笑)

今後の夢を「千葉県の祖父母に会いに行くことと友人と沖縄の美ら海水族館や夕日を眺めながらのんびりと過ごすことです。早く憧れの青い海を眺めに行きたいです」と笑顔で話してくれました。

温故知新

【353】

かくしゃくたる老人

森田 平作 さん

石狩郡の当麻町で10人兄弟の長男として生まれ親の仕事関係(馬追い)から足寄郡陸別町で18歳まで過ごし、津別町で結婚。夏は農業、冬は野木場のどばまき(丸太の檜を組み、馬そりから木材を降ろす場所を造る仕事)して生活を営んでいた。

昭和18年、森田さん33歳のとき召集され旭川の第7師団に配属、昭和19年、樺太上敷香の古田国境警備となり、その後、各地区に転属、昭和20年8月ソ連の参戦により、小田寒海岸の警備に就いたが、武器といえは「手投弾」のみで駆



もりた へいさく さん/明治45年石狩郡当麻町で生まれる/趣味の古銭集めを楽しむ/95歳/達美 ケアハウスつべつに在住

健康いきいき

福祉用具で便利に快適に

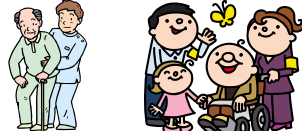
私たちは普段から、さまざまな道具を使うことで、便利で快適な生活をしています。あまりなじみがないかもしれませんが、福祉用具も生活を豊かにする道具のひとつです。

体の状態に合った福祉用具を正しく使うと、日常生活に必要な動作がしやすくなり、その人の自立を助けます。

【したいことを考えましょう】
利用にあたっては、「今できること、福祉用具を使ってしたいことをはっきりさせる」ことが大切です。

ひとくちに「歩くことが大変」といっても、車椅子が必要なのか、歩行器があるいは歩行補助杖がよいのかは、その人の体の状態や生活スタイル、介護する方の状況などによって異なります。

【必ず専門家に相談ください】
以前は「値段が高い」、「本当に役立つの？」と二の足を踏んでいた福祉用具ですが、介護保険



制度によって使いやすくなりました。

制度の利用には、まず役場の介護保険係で、「要介護認定」申請をすることが必要です。認定の結果、「要支援」「要介護」状態と認められると、介護保険制度による福祉用具の利用が可能となります。歩行器や車椅子などを安価でレンタルできたり、制度に適用する福祉用具を指定の販売店で購入した場合、購入金額の9割が支給されます。

しかし、購入した後で体に合わず使えなかったり、制度の適用にならない用具を購入して払い戻しを受けられないなどのトラブルも同時に起こっています。そういったことを防ぐためにも、必ず福祉用具の専門家に相談を受けましょう。

要介護認定を受けている方には、その方を担当するケアマネジャー(介護支援専門員)がいますので、まずはご連絡ください。要介護認定を受けていない方は、高齢者支援係までご相談ください。

周辺では、避難する民間人から右を投げられることもあり、また武器も持たない兵隊が入り乱れ軍隊の規律も何もない混乱状態だった。同月24日に内路飛行場で武装解除され、ソ連の指揮下、北樺太のアレキサンドロフスクまで約700kmを行軍させられて抑留生活に入った。

抑留生活は、重労働で体力の消耗も激しく炊事勤務であった森田さんは、いろいろな材料を工夫して食事を作り、同胞から大変喜ばれ、2年の抑留生活後、昭和22年12月に復員したが、母親は、すでに亡くなっており、外地から引き揚げてきた弟、妹、その子供たちなど18名の大家族で仕事も造材の仕事しかなく1日1円の日当で生活は相当苦しく食糧の確保にも苦労したらしい。

47歳のとき離農し、翌年、丸玉産業株式会社に入社68歳退職まで20年間働き、退職後3年間(介護阿寒湖畔のホテルなどに勤め現役を引退した)。

趣味の古銭コレクションは、幼少期から興味があり、江戸時代中期の寛永通宝や明治初期のコイン、紙幣など時価は不明であるが大切にコレクション集に保管し「50人近くいる孫、ひ孫に分け与えることが楽しみだ」と耳は遠いがしっかりと口調で話す元氣、はつらつなおじいちゃんである。

暮らしを支える

税

町道民税の非課税についてお知らせします

町道民税(住民税)は、一定の要件に該当すると非課税になります。これらの非課税は、担税力が乏しかったり、低所得者の負担軽減を図るためにとられている措置です。

- 【均等割も所得割もかからない方】
 - ・ 障害者、未成年者、寡婦又は寡夫で前年の所得金額が125万円以下の方
- 【均等割がからない方】
 - ・ 前年の所得金額が、扶養親族等(控除対象配偶者と扶養親族をいいます)がない場合は28万円以下です。扶養親族がある場合には28万円に本人と扶養親族等の合計数を乗じた金額に17万円を加えた金額以下の方が対象です。(この場合、計算上、所得割もかからなくなります。)

【所得割のかからない方】

- ・ 前年の所得金額が、扶養親族等がない場合35万円以下です。
 - ・ 扶養親族がある場合には35万円に本人と扶養親族等の合計数を乗じた金額に32万円を加えた金額以下の方が対象です。
- ご不明な点は、役場税務係までお問い合わせください。